



子ども大学かわごえ

# CUK だより

第16号 NO.1102

2011年2月10日

## 「川越市の観光について」

川越観光協会会長 蓮馨寺住職 糸原恒久

2011年1月29日 於・東京国際大学

川越市内にある蓮馨寺住職の糸原恒久先生は、川越市の観光協会の会長をしておられます。川越の歴史と街の発展についてのお話が始まりました。「川越市は首都圏のそばにあり、JR、私鉄、地下鉄や高速道路などの交通のかなめになっています。1922年、埼玉で最初に市になりましたが、川越を通るはずだった高崎線が大宮に変わったため発展から遅れてしまいました。しかし鉄道や道路の整備が進み、文化的な面を中心にまた大きな力を取りもどしつつあります」。

先生はパワーポイントを指さしながら説明を続けられます。



「平成2年に川越駅東口再開発（さいかいはつ）

事業としてできたアトレビルやクレアモールの商店街ができましたが、その中心には丸広百貨店もあります。駅南の商店街を歩いて『蔵の町』へ向かいます。市役所もこの近くにあり、川越市のもう一つの重要な拠点（きょてん）は西武新宿線の本川越駅です。街の中心部の『蔵造り通り』には一番近い駅です。『蔵造り』りと、その少し南の『大正浪漫通り』が川越市北半分の観光拠点です。そこから南東の方に喜多院、成田山があります。



川越は明治26年の大火で街中が燃えてしまいました。このときに商人は耐火性のある蔵造りで建物を再建しました。昭和後期、市民から『蔵の街を守ろう』という声が上がって、市が保存することになり、現在この蔵の街自体が観光の目玉になっています。平成11年に国の『重要伝統的建造物群保存地区』になりました。

町の中心にある『時の鐘』は約400年も前から時を刻んできました。平成8年には環境庁の『残したい日本の音風景百選』に選定されています。観光客に人気の『菓子屋横丁』は、ここ20年くらいの観光ブームで商店が力を入れにぎわっています。平成13年には『かおり風景百選』に選ばれました」。

さて、喜多院が映し出されました。昔は北院、中院、南院と三つのお寺があったそうです。そのなかで一番北側にあったので北院（現・喜多院）と呼ばれたと教えていただきました。今は南院はありません。先生のお話は続きます。



「本丸御殿は太田道灌がつくったお城です。大きな修理をしていますが、今年の3月にまた見学できるようになります。そして川越はお祭りの街です。山車の曳きかわせで有名な『川越まつり』は、毎年10月の第3土・日曜に行われ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。来年は市制90年のお祝いで、29台ある山車が全部出揃う予定です。また『川越まつり会館』では毎日お囃子が聞こえていますよ。

昔川越の物資は舟をつかって新河岸川から江戸に運ばれました。江戸時代、米、さつまいもなどいろいろの物資で江戸の街をささえたのは川越です。

それから川越市内にはお寺も多いのです、全日本仏教会登録は49軒ありますが、新しく作られたものを入れると70軒もあります。川越を訪れる観光客は年々増えて年間628万人です。多くの人から見られているという意識で街がきれいになり、教育や文化などのレベルがあがります。観光は街づくりにうってつけなのです。川越の観光協会ができたのは1959年で、埼玉県で最初です」

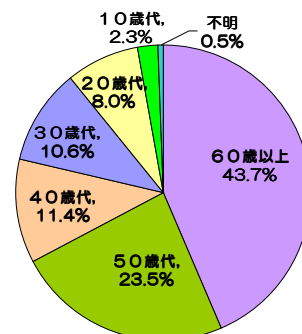
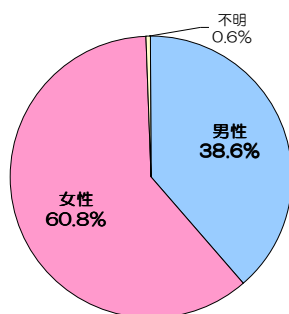
先生は川越の街の特色を次のようにまとめてくださいました。

1. 新河岸川には船着き場があり、江戸と舟運で発達した街。
2. 江戸の天下祭の様式を取り入れて、川越の山車をひくというお祭りができた。
3. 江戸時代の町家が発展した蔵造りが残っている。

「それらをいろいろな組織や団体の人が集まって守っているのです。新しい事業として

は、B級グルメのPRや、NHK連続TV小説の「つばさ」を受け入れた実績を生かして、川越ロケーションサービスができました。最近できた蔵里（くらり）では川越の物産を売っています」。

川越を訪れる観光客の性別と年齢は次のようになっているとのことです。



先生は「これからも、未来のあるみなさんの力で川越をもっと素晴らしい街にしてください」と、私たちのふるさと川越の紹介をしめくくってくださいました。

## 連絡事項

### 1. 次回授業

2月12日(土) 教室 東京国際大学 第1キャンパス 3号館 314教室

講師 客員教授 池上彰氏

受付開始 午後1時15分 ホームルーム 1時30分から

授業開始 1時間目 2時 2時間目 3時

授業のタイトル 1時間目 『テレビの見方』を考えよう

2時間目 『民主主義の国』とはどんな国？

授業終了 4時の予定、少し遅れることがある

### 2. 埼玉県NPO大賞「優秀賞」受賞報告

2月2日遠藤学長と酒井事務局長の二人は川合善明川越市長を訪問、埼玉県NPO大賞コンペで優秀賞を受賞したことを報告しました。



### 3. 「ミニかわごえ2010」

第2回「ミニかわごえ」は3月2日(土)と13日(日)の両日川越市内の蓮馨寺の境内で開かれます。現在大人ワーキンググループと子ども会議で準備を進めています。学生と

保護者は12日・13日のどの時間帯に会場に来て運営に参加・協力するかアンケート調査をしています。未回答の方は至急に連絡をしてください。

### 4. シンポジウム「今学期の授業を振り返る」(仮題)

3月26日(土)午後2時からシンポジウムと卒業・終業式を行います。並行して、今学期の授業や課外活動の写真展示会を開きます。

卒業・終業式では、皆勤賞と優秀賞を授与し、次いで全員に角帽を渡します。

シンポジウムでは、討論に参加するパネリストとして、4年生、5年生、6年生の男女計6人と保護者3人を考えていますが、もう少し案を練ってみます。この件で学生諸君や保護者の方々にご協力をお願いすることになるかと思いますが、その場合ご協力をお願いいたします

なお、会場は東京国際大学第1キャンパスの教室となる予定です。

これで今学期の授業活動はすべて終了します。新年度は5月連休明けに第4期生の募集を行います。募集案内は川越市、鶴ヶ島市、川島町の教育委員会経由市内・町内の全小学校へ配布します。マスコミへも情報提供をしますので、川越市、鶴ヶ島市、川島町の小学生以外の小学生にも情報が届くものと思われます。



## 子ども大学かわごえ

学長 遠藤 克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991 (事務局直通)

FAX 049-233-1640F

E\_MAIL [info@cuk.or.jp](mailto:info@cuk.or.jp)